

第3回震災対策救助訓練記録

高萩救助



日時 平成24年9月4日・5日 09:30～16:00

訓練内容 CSR/M(閉鎖狭隘空間での救助/救急)

訓練場所 茨城県立消防学校 USAR 施設

第3回目の震災対策救助訓練を茨城県消防学校USAR施設にて二日間
にわたり延べ35名の隊員で実施しました。



活動方針の伝達



ゾーンニングの実施



サーチング活動



PPE（個人防護装備）を確認

ヘルメット，ヘッドライト，ゴーグル，警笛，マスク，ケブラー手袋，肘膝パット，通信手段等を装備して進入活動を実施。



要救助者の搬送時時の保護にダンボールを使用しました。



進入経路の目印と搬送時の補助にザイルを使用





複数の要救助者がいる場合には、トリアージを実施





C S 内での救助資機材の使用



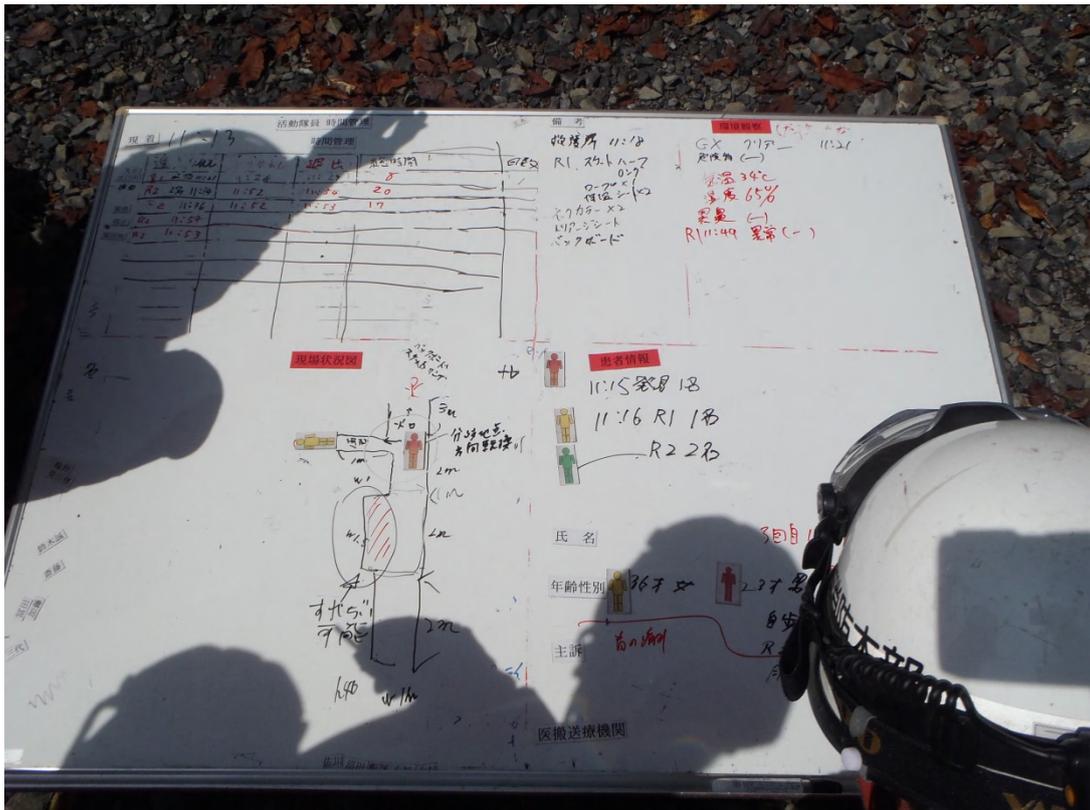
内部の状況、活動状況、要救助者の状態をトランシーバにて指揮所に伝達



第1回目訓練終了時



骨盤骨折の疑いのためバックボードに固定しフルスケッドで搬送



ホワイトボードを活用して進出管理，要救助者情報，内部地図，環境観察を記載し活動の安全管理を図る。



ブルーシートに保温しスケッドに収容





訓練終了後のブレイクストーミングを実施して隊員それぞれ感じたことを自由に発言し、検討、対応策を模索して次の訓練で早速試しました。



お疲れ様でした。

今回の訓練では、フルスケッドとハーフスケッドの使い分けと引き摺り搬送時の有効性を検証できました。

またCS（閉鎖狭隘空間）内での救急処置や救助器具を使用する際の重量物除去や切断作業は、通常災害時に容易に行っている救急処置や救助作業であっても長時間を要し、体力・精神力の消耗が激しいことを体感できました。

茨城県立消防学校職員の皆様にあつては、お忙しい中、施設を借用させていただき感謝申し上げます。有意義な訓練ができたことをここに報告させていただきます。